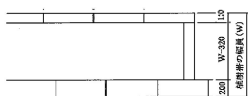
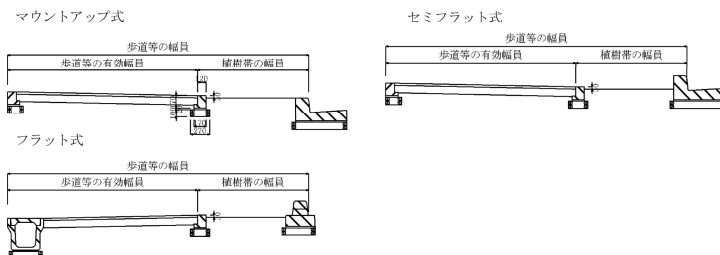

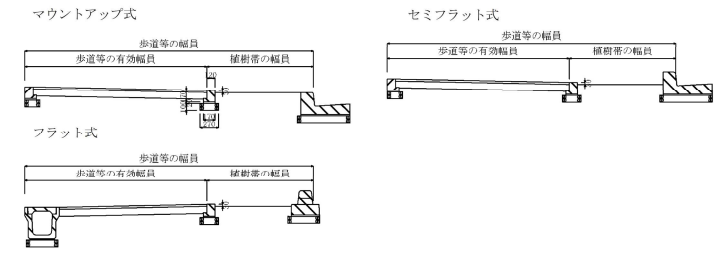
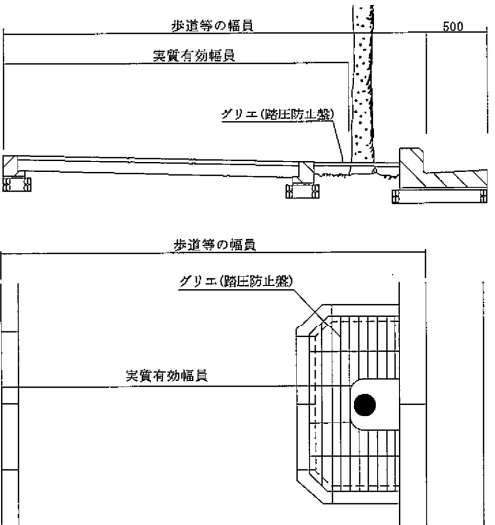
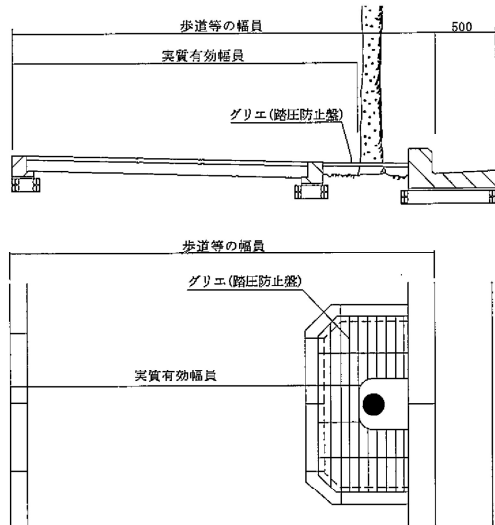


第7編 道路緑化
7-4

新	旧
<p>3. 植栽を行う道路の選定</p> <p>第4種第1級・2級の道路には、植樹帯を設けるものとするが、その植栽設計（植樹帯形式、樹種選定）にあたっては建設事務所維持管理課と相談する。また、それ以外の道路で植樹帯を設ける場合は、建設事務所維持管理課及び道路維持課（維持管理課経由）と相談するものとする。</p> <p style="text-align: right;">【参考】道路構造令の解説と運用、P.251、平成18年8月、（社）日本道路協会</p> <p>4. 歩道及び自転車歩行者道の植栽</p> <p>4.1 植栽の効果</p> <p>歩道及び自転車歩行者道（以下「歩道等」という）の植栽は道路景観を向上するとともに、住民の最も身近な緑として日常生活に潤いと癒いを与えるほか、歩車道分離による歩行者の安全確保、緑陰の提供、交通の円滑化等の効果がある。</p> <p>4.2 植栽地の形式</p> <p>歩道等の植栽の形式は、原則として植樹帯とする。ただし、沿道施設から車道への出入り口が多く、ある程度連続して植樹帯を設置できない場合は植樹樹とする。</p> <p>4.3 植樹帯、植樹樹及びトレリスの構造</p> <p>(1) 植樹帯</p> <p>植樹帯の幅員は1.5mを標準とする。</p> <p>ごみの収集、荷物の積み卸し等、沿道の利用上不便を生じるときは、植樹帯を分断することができる。</p>  <p style="text-align: center;">図 4.1 植樹帯断面図</p> <p>マウントアップ式</p> <p>歩道等の幅員 歩道等の有効幅員</p> <p>植樹帯の幅員</p> <p>フラット式</p> <p>歩道等の幅員 歩道等の有効幅員</p> <p>植樹帯の幅員</p> <p>セミフラット式</p> <p>歩道等の幅員 歩道等の有効幅員</p> <p>植樹帯の幅員</p>  <p style="text-align: center;">図 4.2 植樹帯断面図</p>	<p>3. 植栽を行う道路の選定</p> <p>第4種第1級・2級の道路には、植樹帯を設けるものとするが、その植栽設計（植栽帯形式、樹種選定）にあたっては建設事務所維持管理課と相談する。また、それ以外の道路で植樹帯を設ける場合は、建設事務所維持管理課及び道路維持課（維持管理課経由）と相談するものとする。</p> <p style="text-align: right;">【参考】道路構造令の解説と運用、P.251、平成18年8月、（社）日本道路協会</p> <p>4. 歩道及び自転車歩行者道の植栽</p> <p>4.1 植栽の効果</p> <p>歩道及び自転車歩行者道（以下「歩道等」という）の植栽は道路景観を向上するとともに、住民の最も身近な緑として日常生活に潤いと癒いを与えるほか、歩車道分離による歩行者の安全確保、緑陰の提供、交通の円滑化等の効果がある。</p> <p>4.2 植栽地の形式</p> <p>歩道等の植栽の形式は、原則として植樹帯とする。ただし、沿道施設から車道への出入り口が多く、ある程度連続して植樹帯を設置できない場合は植樹樹とする。また都市部の道路にあって道路緑化を図る必要のある道路において、歩道等の有効幅員が確保できない場合は植樹樹またはトレリスの設置を検討することができるものとする。</p> <p>4.3 植樹帯、植樹樹及びトレリスの構造</p> <p>(1) 植樹帯</p> <p>植樹帯の幅員は1.5mを標準とし、現地の状況に応じてやむをえない場合はこの限りではない。</p> <p>原則として、可能な限り連続して設置するものとするが、ごみの収集、荷物の積み卸し等、沿道の利用上不便を生じるときは、当該箇所において、必要最小限の長さで植樹帯を分断することができる。</p>  <p style="text-align: center;">図 4.1 植樹帯断面図</p> <p>マウントアップ式</p> <p>歩道等の幅員 歩道等の有効幅員</p> <p>植樹帯の幅員</p> <p>フラット式</p> <p>歩道等の幅員 歩道等の有効幅員</p> <p>植樹帯の幅員</p> <p>セミフラット式</p> <p>歩道等の幅員 歩道等の有効幅員</p> <p>植樹帯の幅員</p>  <p style="text-align: center;">図 4.2 植樹帯断面図</p>

第7編 道路緑化
7-6

新	旧
<div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">図 4.6 グリエ設置例</p> <p>(3) トレリス トレリスは、つる性植物を植栽する。 ※トレリスは、原則として設置しない。設置する場合は、道路維持課及び維持管理課と協議するものとする。</p> <p>(4) 歩道植樹帯及び分離帯植樹帯の撤去（植樹帯も含む） 歩道植樹帯及び分離帯植樹帯の撤去については、第11編 維持修繕 4.3 清掃、植栽および街路樹を参照するものとする。</p>	<p>歩道等の有効幅員が確保できない道路に植樹帯を設置する場合は、グリエの設置等により実質的な幅員を広く確保すること。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">図 4.6 グリエ設置例</p> <p>(3) トレリス 狭幅員の歩道で、道路緑化を推進する必要がある場合は、トレリスを設置することができる。 トレリスは、原則として路上施設帯内に設置し、つる性植物を植栽する。 歩行者保護用防護柵（種別 Ap、Bp、及び Cp）設置区間では、ガードパイプ兼用型のトレリスの使用を検討するものとする。</p> <p>(4) 歩道植樹帯及び分離帯植樹帯の撤去（植樹帯も含む） 歩道植樹帯及び分離帯植樹帯の撤去については、第11編 維持修繕 5.3 清掃、植栽および街路樹を参照するものとする。</p>

第7編 道路緑化
7-8

新	旧
<p>4.4 植樹帯、植樹樹の設置</p> <p>4.4.1 植樹帯、植樹樹の設置位置</p> <p>植樹帯、植樹樹の設置位置は歩道等内の車道寄りを原則とするが、歩道等の幅員、歩行者等の交通量および沿道の状況により、歩道等の中央寄り、歩道等の路肩寄り、またはそれらの併用により設置することができる。</p> <p>植樹帯、植樹樹設置の際には、交通の安全を図るため、十分な交通視距を確保する必要があり、道路の地形的特性、線形、縦断勾配、道路標識、照明灯、電柱などの道路付属物等を考慮するものとする。</p> <p>4.4.2 植樹帯</p> <p>(1) 次に掲げる道路の部分には植樹帯を設置しないものとする。</p> <p>(a) 道路の交差点または隅切りの端部から手前6.0m、後方4.0m以内の部分 注1；横断歩道のある交差点では、横断歩道の外側24.0m以内の部分とする。</p> <p>(b) 横断歩道、自転車横断帯の手前24.0m、後方4.0m以内の部分。自動車乗入口の手前6.0m、後方4.0m以内の部分。</p> <p>(c) 横断歩道橋および地下横断歩道の出入口から、3.0m以内の部分。</p> <p>(d) バス停留所標識柱から、車両の進行方向に向かって手前10.0m、後方1.0mおよびバスの乗降に支障となる部分。</p> <p>(e) 電話ボックス、公衆便所の出入口、郵便ポストの周囲1.0m以内の部分。</p> <p>(f) 信号柱の手前または街路灯から4.0m以内の部分には高木を植えないこととする。</p> <p>(g) 消防施設については、標準としてその周囲1.0m以内の部分とするが、実施にあたっては管理者と協議のこと。</p> <p>(2) 設置にあたっての留意事項</p> <p>(a) 植樹帯を設置する場合には、原則として、街路灯、街渠樹、防護柵の基礎等の道路付属物、および電柱等の占用物件を取り込む形とすること。</p> <p>(b) 植樹帯の設置にあたっては乗入れ施設の設置等について、あらかじめ沿道住民の意向を調べるとともに、道路占用計画等についても十分に調整してから実施すること。</p> <p>(c) 植樹帯の設置にあたっては、道路標識の視認性を阻害しないよう、その管理者と十分調整してから実施すること。特に停車帯のない道路にあつては、視認性を確保するため、大型標識の手前20.0m間にあつては、高木を植栽しないこと。</p>	<p>4.4 植樹帯、植樹樹の設置</p> <p>4.4.1 植樹帯、植樹樹の設置位置</p> <p>植樹帯、植樹樹の設置位置は歩道等内の車道寄りを原則とするが、歩道等の幅員、歩行者等の交通量および沿道の状況により、歩道等の中央寄り、歩道等の路肩寄り、またはそれらの併用により設置することができる。</p> <p>植樹帯、植樹樹設置の際には、交通の安全を図るため、十分な交通視距を確保する必要があり、道路の地形的特性、線形、縦断勾配、道路標識、照明灯、電柱などの道路付属物等を考慮するものとする。</p> <p>4.4.2 植樹帯</p> <p>(1) 次に掲げる道路の部分には植樹帯を設置しないものとする。</p> <p>(a) 道路の交差点または隅切りの端部から2.0m以内の部分（高木は4.0m以内、中木は図4.8のØ1、Ø2以内の部分）。</p> <p>注1；横断歩道のある交差点では、横断歩道の外側1.5m以内の部分とする。</p> <p>注2；大規模な交差点で隅切りが広く、歩道等の有効幅員が確保できる場合は交差点内に樹高0.6m以下の低木の植栽は可能とする。</p> <p>(b) 横断歩道、自転車横断帯、自動車乗入口の前後1.5m以内の部分。</p> <p>(7) 注1；横断歩道、自転車横断帯の手前6.0mについては、0.6m以下の低木植栽とし、それらの後方4.0mについては、中木の植栽はしない。</p> <p>(c) 横断歩道橋および地下横断歩道の出入口から、3.0m以内の部分。</p> <p>(d) バス停留所標識柱から、車両の進行方向に向かって手前10.0m、後方1.0mおよびバスの乗降に支障となる部分。</p> <p>(e) 電話ボックス、公衆便所の出入口、郵便ポストの周囲1.0m以内の部分。</p> <p>(f) 信号柱の手前または街路灯から4.0m以内の部分には高木を植えないこととする。</p> <p>(g) 消防施設については、標準としてその周囲1.0m以内の部分とするが、実施にあたっては管理者と協議のこと。</p> <p>(2) 設置にあたっての留意事項</p> <p>(a) 植樹帯を設置する場合には、原則として、街路灯、街渠樹、防護柵の基礎等の道路付属物、および電柱等の占用物件を取り込む形とすること。</p> <p>(b) 植樹帯の設置にあたっては乗入れ施設の設置等について、あらかじめ沿道住民の意向を調べるとともに、道路占用計画等についても十分に調整してから実施すること。</p> <p>(c) 植樹帯の設置にあたっては、道路標識の視認性を阻害しないよう、その管理者と十分調整してから実施すること。特に停車帯のない道路にあつては、視認性を確保するため、大型標識の手前20.0m間にあつては、高木を植栽しないこと。</p> <p>(d) 歩道の有効幅員を確保できる範囲においては、できる限り連続した緑化に努めるものとする。交差点付近において植樹帯の幅員を1.0m以上確保できない場合においてはトレリス等による緑化を検討すること。</p>

新

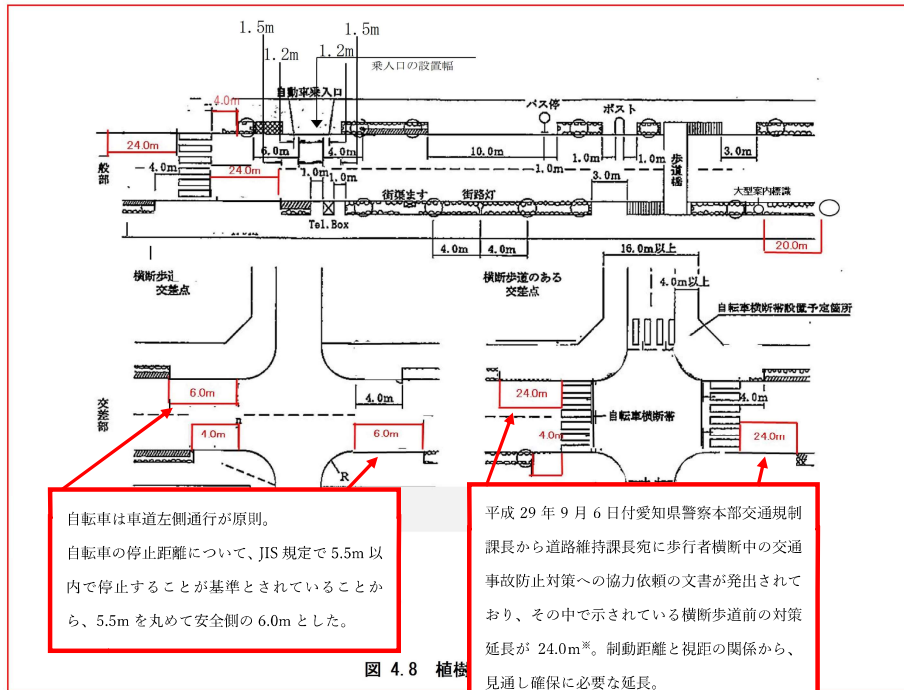


図 4.8 植樹

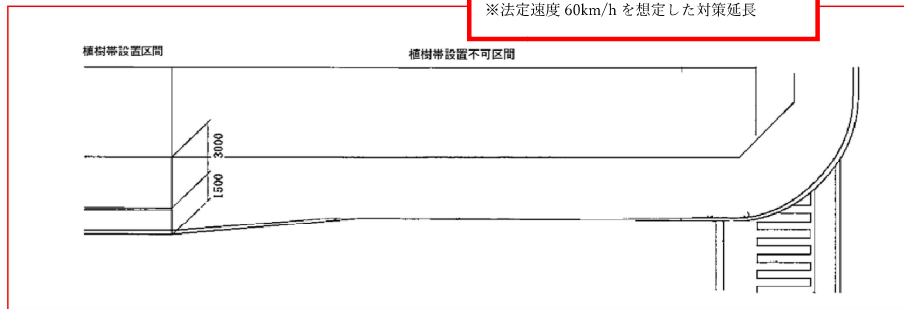


図 4.9 植樹帯設置例 (交差点部)

旧

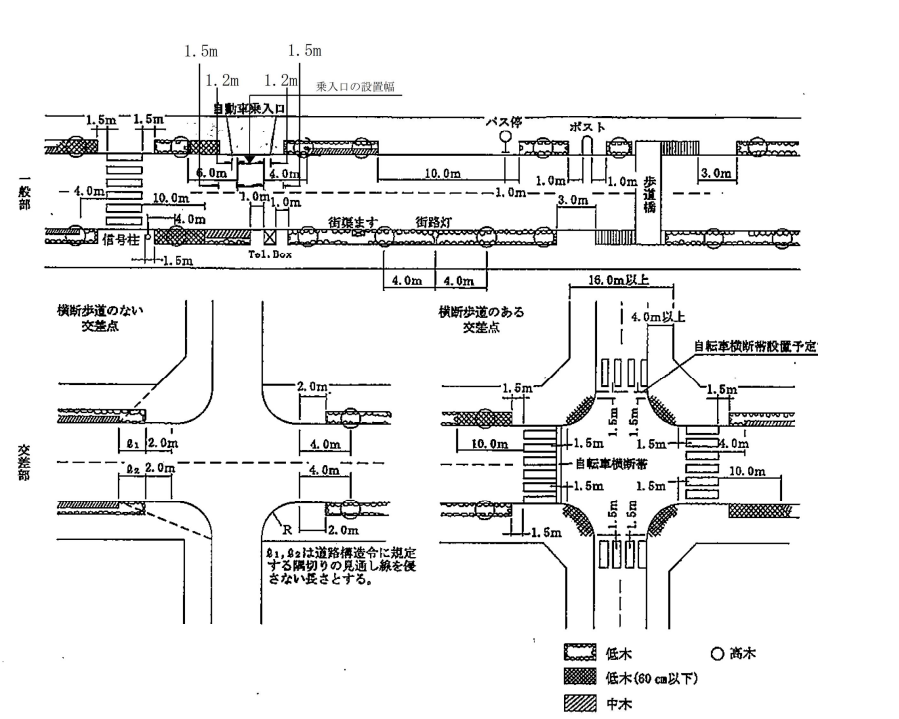


図 4.8 植樹帯設置標準図

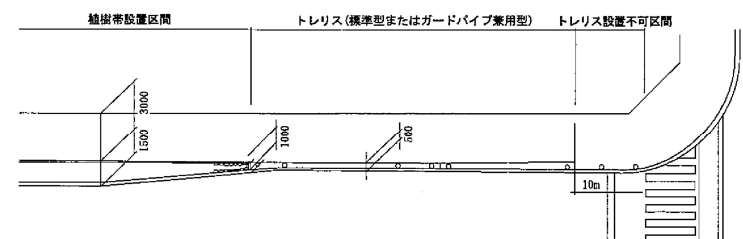
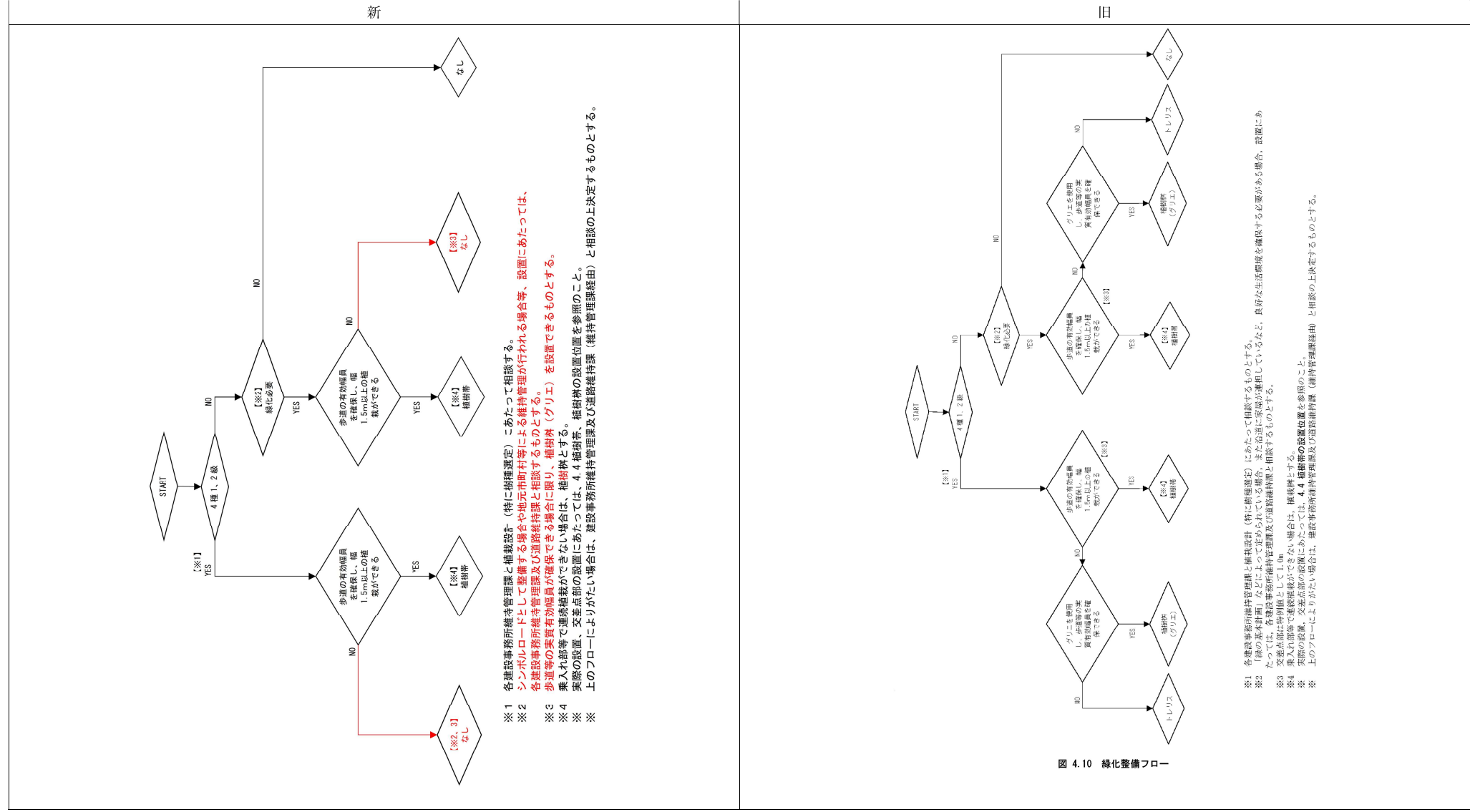


図 4.9 植樹帯設置例 (交差点部)



新

4.4.3 植樹樹

植樹帯の設置が困難な場合は、植樹樹を設置することができる。

- (1) 次に掲げる道路の部分には植樹樹を設置しないものとする。
 - (a) 道路の交差点または隅切りの端部から手前6.0m、後方4.0m以内の部分。
注1；横断歩道のある交差点では、横断歩道の外側24.0m以内の部分とする。
 - (b) 横断歩道、自転車横断帯の手前24.0m、後方4.0m以内の部分。自動車乗入口の手前6.0m、後方4.0m以内の部分。
 - (c) 横断歩道橋および地下横断歩道の出入口から、3.0m以内の部分。
 - (d) バス停留所およびその付近でバスの乗降に支障となる部分。
 - (e) 電話ボックス、公衆便所の出入口、郵便ポストの周囲1.0m以内の部分。
 - (f) 信号柱、街路灯から4.0m以内の部分。
 - (g) 消防施設については、標準としてその周囲1.0m以内の部分とするが、実施にあたっては管理者と協議するものとする。
- (2) 設置にあたっての留意事項
 - (a) 植樹樹を設置する場合には、街路灯、街渠樹、防護柵の基礎等の道路付属物、および電柱等の占用物件は植樹樹内に取り込まないこと。
 - (b) 植樹樹の設置にあたっては乗入れ施設の設置等について、あらかじめ沿道住民の意向を調べるとともに、道路占用計画等についても十分に調整してから実施すること。
 - (c) 植樹樹の設置にあたっては、道路標識の視認性を阻害しないよう、その管理者と十分調整してから実施すること。特に停車帯のない道路にあつては、視認性を確保するため、大型標識の手前20.0m間にあつては、高木を植栽しないこと。

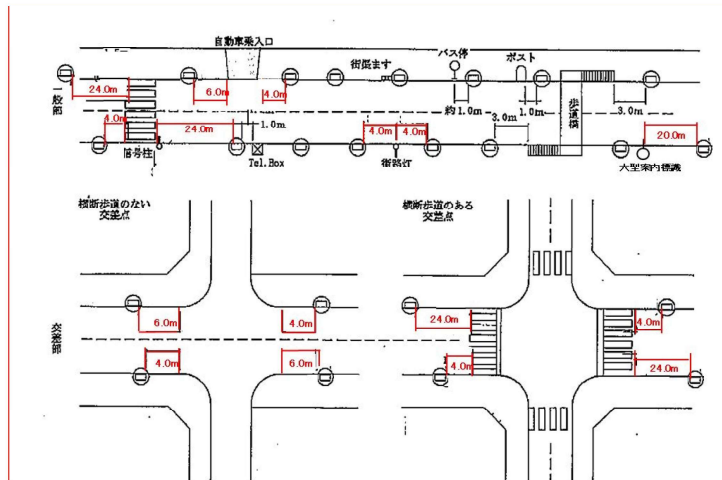


図 4.11 植樹樹設置標準図

旧

4.4.3 植樹樹

植樹帯の設置が困難な場合は、植樹樹を設置することができる。

- (1) 次に掲げる道路の部分には植樹樹を設置しないものとする。
 - (a) 道路の交差点または隅切りの端部から3.0m以内の部分。
注1；横断歩道のある交差点では、横断歩道の外側1.5m以内の部分とする。
注2；大規模な交差点で隅切り部が広く余裕のある場合は、歩道等の路肩寄りなどに植樹する場合もある。
 - (b) 横断歩道、自転車横断帯、自動車乗入口の前後1.5m以内の部分。
 - (c) 横断歩道橋および地下横断歩道の出入口から、3.0m以内の部分。
 - (d) バス停留所およびその付近でバスの乗降に支障となる部分。
 - (e) 電話ボックス、公衆便所の出入口、郵便ポストの周囲1.0m以内の部分。
 - (f) 信号柱、街路灯から3.0m以内の部分。
 - (g) 消防施設については、標準としてその周囲1.0m以内の部分とするが、実施にあたっては管理者と協議するものとする。
- (2) 設置にあたっての留意事項
 - (a) 植樹樹を設置する場合には、街路灯、街渠樹、防護柵の基礎等の道路付属物、および電柱等の占用物件は植樹樹内に取り込まないこと。
 - (b) 植樹樹の設置にあたっては乗入れ施設の設置等について、あらかじめ沿道住民の意向を調べるとともに、道路占用計画等についても十分に調整してから実施すること。
 - (c) 植樹樹の設置にあたっては、道路標識の視認性を阻害しないよう、その管理者と十分調整してから実施すること。特に停車帯のない道路にあつては、視認性を確保するため、大型標識の手前20.0m間にあつては、高木を植栽しないこと。

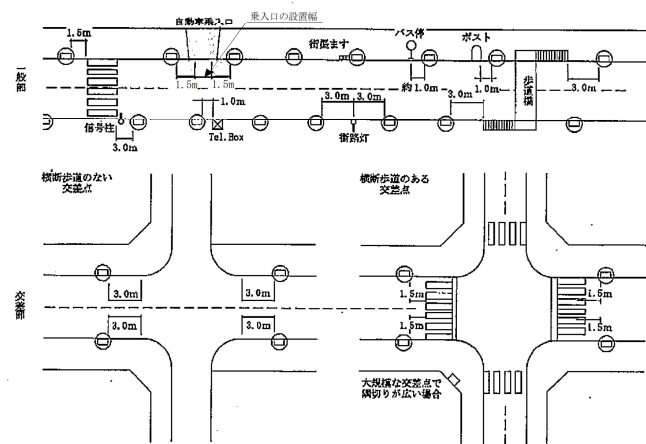
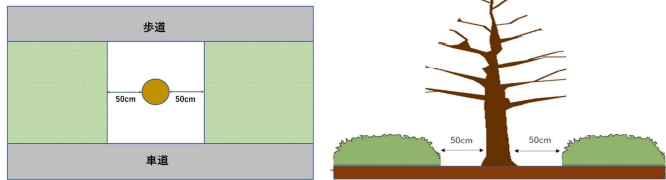



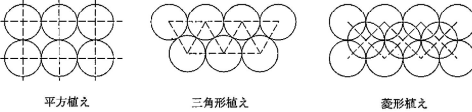
図 4.11 植樹樹設置標準図

道路構造の手引き改定対照表

第7編道路緑化
7-12

新	旧
<p>4.5 植栽設計</p> <p>4.5.1 植樹帯形式の基本事項</p> <p>植樹帯は標準として高木と低木の連続した植潰し植栽とするが、広幅員の植樹帯で騒音の緩和、防塵、遮蔽などの遮断効果を図る場合においては、高・中・低木を併用した規則形または自然形植栽とする。</p> <p>特に、交差点や合流付近の植樹帯は、十分な交通視距を確保し交通の安全を図る必要がある。</p> <p>4.5.2 植樹樹形式の基本事項</p> <p>植樹帯内の高木周辺に美観上及び植樹帯内の根固め防止、土壌安定のため、低木、地被、または芝等を植栽することができる。</p> <p>4.5.3 樹種選定の留意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 地元の意向を積極的に反映し、管理方式、樹種等について協議・決定することが望ましい。 (2) 樹種の選定にあたっては、樹木の特性、歩道等の幅員、沿道の成育条件、植栽計画の意図、将来の維持管理を考慮の上決定しなければならない。 (3) 中・低木（寄植え及び刈込物）は常緑樹が望ましい。 (4) 同一樹種、同形、同大のものが一定数量入手可能なものであること。 (5) 地域の特質を重んじて、沿道の諸条件に合致した樹種であること。 (6) 特に病害虫駆除は、管理上多大な費用がかかるため比較的抵抗性のある樹種を選ぶこと。 (7) 設置時には、愛・道路パートナーシップ事業や、マイタウンマイロード事業の活用を積極的に働きかけ、地元可愛される参加型の道路造りを進める。 <p>4.5.4 高木植栽</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 高木の植栽時の樹高については、周辺環境の状況により成木を植栽しなければならない場合を除き、若木植栽を基本とする。 (2) 植樹帯幅1.5m未満の箇所では高木を植栽しない。 (3) 樹間距離については、完成時の樹形、道路景観、維持管理計画を考慮して6~10m間隔以上とし、隣接する樹木の樹冠が触れ合わない程度を目安とすることを基本とする。 (4) 道路に並行する樹列は、同一樹種で少なくとも街区単位以上連続することが望ましい。大規模な交差点・広場・橋梁等で街路樹の連続が不可能な場合や沿道状況・道路構造等が変化する場合には、樹種を変えることができる。ただし、街区の途中における樹種の変更を避けること。 (5) 植栽位置は、信号機、消火栓、街路灯等を考慮し、決定することを基本とする。 (6) ケヤキ、イチヨウ、ユリノキ、フウ等の大高木になる樹種は、狭幅員の歩道には植えないことを基本とする。 (7) 高木の前後、50cmは低木を植栽しないこと。 	<p>4.5 植栽設計</p> <p>4.5.1 植樹帯形式の基本事項</p> <p>植樹帯は標準として高木と低木の連続した植潰し植栽とするが、広幅員の植樹帯で騒音の緩和、防塵、遮蔽などの遮断効果を図る場合においては、高・中・低木を併用した規則形または自然形植栽とする。</p> <p>特に、交差点や合流付近の植樹帯は、十分な交通視距を確保し交通の安全を図る必要がある。</p> <p>4.5.2 植樹樹形式の基本事項</p> <p>植樹帯内の高木周辺に美観上及び植樹帯内の根固め防止、土壌安定のため、低木、地被、または芝等を植栽することができる。</p> <p>4.5.3 樹種選定の留意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 地元の意向を積極的に反映し、管理方式、樹種等について協議・決定することが望ましい。 (2) 樹種の選定にあたっては、樹木の特性、歩道等の幅員、沿道の成育条件、植栽計画の意図、将来の維持管理を考慮の上決定しなければならない。 (3) 中・低木（寄植え及び刈込物）は常緑樹が望ましい。 (4) 同一樹種、同形、同大のものが一定数量入手可能なものであること。 (5) 地域の特質を重んじて、沿道の諸条件に合致した樹種であること。 (6) 特に病害虫駆除は、管理上多大な費用がかかるため比較的抵抗性のある樹種を選ぶこと。 <p>4.5.4 高木植栽</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 高木の植栽時の樹高については、周辺環境の状況により成木を植栽しなければならない場合を除き、若木植栽を基本とする。 (2) 植樹帯幅1.5m未満の箇所では高木を植栽しない。 (3) 樹間距離については、完成時の樹形、道路景観、維持管理計画を考慮して6~10m間隔以上とし、隣接する樹木の樹冠が触れ合わない程度を目安とすることを基本とする。 (4) 道路に並行する樹列は、同一樹種で少なくとも街区単位以上連続することが望ましい。大規模な交差点・広場・橋梁等で街路樹の連続が不可能な場合や沿道状況・道路構造等が変化する場合には、樹種を変えることができる。ただし、街区の途中における樹種の変更を避けること。 (5) 植栽位置は、信号機、消火栓、街路灯等を考慮し、決定することを基本とする。 (6) ケヤキ、イチヨウ、ユリノキ、フウ等の大高木になる樹種は、狭幅員の歩道には植えないことを基本とする。



新	旧																																																																																																																																																																																																								
<p>4.5.5 中木植栽</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 主として常緑樹を使用する。 (2) 交差点や横断歩道付近に植栽する場合は、視距を確保する。 (3) 横断歩道部及び切り下げ部の前後において中木を植栽するときは、4.4 植樹帯、植樹樹の設置を基本とする。 (4) 中木の前後50cmは低木を植栽しないこと。4.5.4 高木植栽(7)参照。 <p>4.5.6 低木植栽</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 常緑樹を主体とする。 (2) 低木の植付け密度は枝条の粗密に配慮し、設定する。例えば完成目標が5年前後の場合、下記のとおりとする。 (3) 中高木の前後50cmは低木を植栽しないこと。4.5.4 高木植栽(7)参照。 <p style="text-align: center;">表 4.1 樹種名と葉張り、本数、樹木間隔の目安</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width:15%;">枝条の粗なもの</td> <td>アオキ</td> <td>アセビ</td> <td>アベリア</td> <td>エニシダ</td> <td>コデマリ</td> <td>ジンチョウゲ</td> <td>チャノキ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>トサミズキ</td> <td>ナワシログミ</td> <td>ビヨウヤナギ</td> <td>ボケ</td> <td>キンバイ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7">(10㎡当り)</td> </tr> <tr> <td>葉張り</td> <td>30cm</td> <td>40cm</td> <td>50cm</td> <td>60cm</td> <td>70cm</td> <td>80cm</td> <td>90cm</td> </tr> <tr> <td>本数</td> <td>約167本</td> <td>97本</td> <td>60本</td> <td>42本</td> <td>30本</td> <td>23本</td> <td>18本</td> </tr> <tr> <td>樹木間隔の目安</td> <td>24.5cm</td> <td>33cm</td> <td>41cm</td> <td>49cm</td> <td>58cm</td> <td>66cm</td> <td>74.5cm</td> </tr> </table> <p><small>*葉張りは完成時のものとする。 *樹木間隔の目安は平方植えの場合である。</small></p> <p style="text-align: center;">表 4.2 樹種名と葉張り、本数、樹木間隔の目安</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width:15%;">枝条の密なもの</td> <td>イヌツゲ</td> <td>オオムラサキ</td> <td>カンツバキ</td> <td>クチナシ</td> <td>キリシマツツジ</td> <td>サツキ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>シャリンバイ</td> <td>シャシャンボ</td> <td>トベラ</td> <td>タギョウショウ</td> <td>ドウダンツツジ</td> <td>ハマヒサカキ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>リュウキュウツツジ</td> <td>ボックスウッド</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="6">(10㎡当り)</td> </tr> <tr> <td>葉張り</td> <td>30cm</td> <td>40cm</td> <td>50cm</td> <td>60cm</td> <td>70cm</td> <td>80cm</td> <td>90cm</td> </tr> <tr> <td>本数</td> <td>約111本</td> <td>63本</td> <td>40本</td> <td>28本</td> <td>20本</td> <td>16本</td> <td>12本</td> </tr> <tr> <td>樹木間隔の目安</td> <td>30cm</td> <td>40cm</td> <td>50cm</td> <td>60cm</td> <td>70cm</td> <td>80cm</td> <td>90cm</td> </tr> </table> <ol style="list-style-type: none"> (4) 植付け本数 植付け本数=10㎡/(樹木間隔)² 樹木間隔:単位m 施行に際しては平方植えでの理論値であるので、植栽地及び植付け方法により修正を加え積算すること。 植付け本数は樹種により20%程度の増減がある。 (5) 低木の植付け方法 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div> <p style="text-align: center;">図 4.12 低木の植え付け方法</p> <ol style="list-style-type: none"> (6) 縁部は中央より密になるように植栽する。 	枝条の粗なもの	アオキ	アセビ	アベリア	エニシダ	コデマリ	ジンチョウゲ	チャノキ		トサミズキ	ナワシログミ	ビヨウヤナギ	ボケ	キンバイ				(10㎡当り)							葉張り	30cm	40cm	50cm	60cm	70cm	80cm	90cm	本数	約167本	97本	60本	42本	30本	23本	18本	樹木間隔の目安	24.5cm	33cm	41cm	49cm	58cm	66cm	74.5cm	枝条の密なもの	イヌツゲ	オオムラサキ	カンツバキ	クチナシ	キリシマツツジ	サツキ		シャリンバイ	シャシャンボ	トベラ	タギョウショウ	ドウダンツツジ	ハマヒサカキ		リュウキュウツツジ	ボックスウッド						(10㎡当り)						葉張り	30cm	40cm	50cm	60cm	70cm	80cm	90cm	本数	約111本	63本	40本	28本	20本	16本	12本	樹木間隔の目安	30cm	40cm	50cm	60cm	70cm	80cm	90cm	<p>4.5.5 中木植栽</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 主として常緑樹を使用する。 (2) 交差点や横断歩道付近に植栽する場合は、視距を確保する。 (3) 横断歩道部及び切り下げ部の前後において中木を植栽するときは、4.4 植樹帯、植樹樹の設置を基本とする。 <p>4.5.6 低木植栽</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 常緑樹を主体とする。 (2) 低木の植付け密度は枝条の粗密に配慮し、設定する。例えば完成目標が5年前後の場合、下記のとおりとする。 <p style="text-align: center;">表 4.1 樹種名と葉張り、本数、樹木間隔の目安</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width:15%;">枝条の粗なもの</td> <td>アオキ</td> <td>アセビ</td> <td>アベリア</td> <td>エニシダ</td> <td>コデマリ</td> <td>ジンチョウゲ</td> <td>チャノキ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>トサミズキ</td> <td>ナワシログミ</td> <td>ビヨウヤナギ</td> <td>ボケ</td> <td>キンバイ</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="7">(10㎡当り)</td> </tr> <tr> <td>葉張り</td> <td>30cm</td> <td>40cm</td> <td>50cm</td> <td>60cm</td> <td>70cm</td> <td>80cm</td> <td>90cm</td> </tr> <tr> <td>本数</td> <td>約167本</td> <td>97本</td> <td>60本</td> <td>42本</td> <td>30本</td> <td>23本</td> <td>18本</td> </tr> <tr> <td>樹木間隔の目安</td> <td>24.5cm</td> <td>33cm</td> <td>41cm</td> <td>49cm</td> <td>58cm</td> <td>66cm</td> <td>74.5cm</td> </tr> </table> <p><small>*葉張りは完成時のものとする。 *樹木間隔の目安は平方植えの場合である。</small></p> <p style="text-align: center;">表 4.2 樹種名と葉張り、本数、樹木間隔の目安</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width:15%;">枝条の密なもの</td> <td>イヌツゲ</td> <td>オオムラサキ</td> <td>カンツバキ</td> <td>クチナシ</td> <td>キリシマツツジ</td> <td>サツキ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>シャリンバイ</td> <td>シャシャンボ</td> <td>トベラ</td> <td>タギョウショウ</td> <td>ドウダンツツジ</td> <td>ハマヒサカキ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>リュウキュウツツジ</td> <td>ボックスウッド</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="6">(10㎡当り)</td> </tr> <tr> <td>葉張り</td> <td>30cm</td> <td>40cm</td> <td>50cm</td> <td>60cm</td> <td>70cm</td> <td>80cm</td> <td>90cm</td> </tr> <tr> <td>本数</td> <td>約111本</td> <td>63本</td> <td>40本</td> <td>28本</td> <td>20本</td> <td>16本</td> <td>12本</td> </tr> <tr> <td>樹木間隔の目安</td> <td>30cm</td> <td>40cm</td> <td>50cm</td> <td>60cm</td> <td>70cm</td> <td>80cm</td> <td>90cm</td> </tr> </table> <ol style="list-style-type: none"> (3) 植付け本数 植付け本数=10㎡/(樹木間隔)² 樹木間隔:単位m 施行に際しては平方植えでの理論値であるので、植栽地及び植付け方法により修正を加え積算すること。 植付け本数は樹種により20%程度の増減がある。 (4) 低木の植付け方法 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  </div> <p style="text-align: center;">図 4.12 低木の植え付け方法</p> <ol style="list-style-type: none"> (5) 縁部は中央より密になるように植栽する。 	枝条の粗なもの	アオキ	アセビ	アベリア	エニシダ	コデマリ	ジンチョウゲ	チャノキ		トサミズキ	ナワシログミ	ビヨウヤナギ	ボケ	キンバイ				(10㎡当り)							葉張り	30cm	40cm	50cm	60cm	70cm	80cm	90cm	本数	約167本	97本	60本	42本	30本	23本	18本	樹木間隔の目安	24.5cm	33cm	41cm	49cm	58cm	66cm	74.5cm	枝条の密なもの	イヌツゲ	オオムラサキ	カンツバキ	クチナシ	キリシマツツジ	サツキ		シャリンバイ	シャシャンボ	トベラ	タギョウショウ	ドウダンツツジ	ハマヒサカキ		リュウキュウツツジ	ボックスウッド						(10㎡当り)						葉張り	30cm	40cm	50cm	60cm	70cm	80cm	90cm	本数	約111本	63本	40本	28本	20本	16本	12本	樹木間隔の目安	30cm	40cm	50cm	60cm	70cm	80cm	90cm
枝条の粗なもの	アオキ	アセビ	アベリア	エニシダ	コデマリ	ジンチョウゲ	チャノキ																																																																																																																																																																																																		
	トサミズキ	ナワシログミ	ビヨウヤナギ	ボケ	キンバイ																																																																																																																																																																																																				
	(10㎡当り)																																																																																																																																																																																																								
葉張り	30cm	40cm	50cm	60cm	70cm	80cm	90cm																																																																																																																																																																																																		
本数	約167本	97本	60本	42本	30本	23本	18本																																																																																																																																																																																																		
樹木間隔の目安	24.5cm	33cm	41cm	49cm	58cm	66cm	74.5cm																																																																																																																																																																																																		
枝条の密なもの	イヌツゲ	オオムラサキ	カンツバキ	クチナシ	キリシマツツジ	サツキ																																																																																																																																																																																																			
	シャリンバイ	シャシャンボ	トベラ	タギョウショウ	ドウダンツツジ	ハマヒサカキ																																																																																																																																																																																																			
	リュウキュウツツジ	ボックスウッド																																																																																																																																																																																																							
	(10㎡当り)																																																																																																																																																																																																								
葉張り	30cm	40cm	50cm	60cm	70cm	80cm	90cm																																																																																																																																																																																																		
本数	約111本	63本	40本	28本	20本	16本	12本																																																																																																																																																																																																		
樹木間隔の目安	30cm	40cm	50cm	60cm	70cm	80cm	90cm																																																																																																																																																																																																		
枝条の粗なもの	アオキ	アセビ	アベリア	エニシダ	コデマリ	ジンチョウゲ	チャノキ																																																																																																																																																																																																		
	トサミズキ	ナワシログミ	ビヨウヤナギ	ボケ	キンバイ																																																																																																																																																																																																				
	(10㎡当り)																																																																																																																																																																																																								
葉張り	30cm	40cm	50cm	60cm	70cm	80cm	90cm																																																																																																																																																																																																		
本数	約167本	97本	60本	42本	30本	23本	18本																																																																																																																																																																																																		
樹木間隔の目安	24.5cm	33cm	41cm	49cm	58cm	66cm	74.5cm																																																																																																																																																																																																		
枝条の密なもの	イヌツゲ	オオムラサキ	カンツバキ	クチナシ	キリシマツツジ	サツキ																																																																																																																																																																																																			
	シャリンバイ	シャシャンボ	トベラ	タギョウショウ	ドウダンツツジ	ハマヒサカキ																																																																																																																																																																																																			
	リュウキュウツツジ	ボックスウッド																																																																																																																																																																																																							
	(10㎡当り)																																																																																																																																																																																																								
葉張り	30cm	40cm	50cm	60cm	70cm	80cm	90cm																																																																																																																																																																																																		
本数	約111本	63本	40本	28本	20本	16本	12本																																																																																																																																																																																																		
樹木間隔の目安	30cm	40cm	50cm	60cm	70cm	80cm	90cm																																																																																																																																																																																																		